

ぬくもり

肌のぬくもりある医療 宇佐高田医師会病院



私達は笑顔を大切にします

2008.1.25.発行

No. 11

C · O · N · T · E · N · T · S

- 新年を迎えて 2
- 医事統計総括表 2
- 部署紹介⑦4階病棟 3
- 癒しの空間 3
- 電子カルテが稼動しました 4
- 電子カルテ導入までの流れ 4
- 尿酸代謝（痛風）の検査 6
- レシピ紹介します 6
- 学会・研修会等報告 7
- 第14回宇佐市消防競技大会 7
- 日本がん治療認定研修施設 8
- 外来担当医師一覧表 8

〒872-0102 大分県宇佐市大字南宇佐635 TEL.0978-37-2300(代) FAX.0978-37-2307 <http://www.utihp.jp/>



「日の出」 瀧 昭二様 撮影

新年を迎えて

新年明けまして

おめでとうございませす



理事長
徳光 克己

皆様と共にどうか平成20年が良き年になります様、心から念じております。

医師会病院並びに検診センターの職員の皆様には地域基幹病院としての自覚を新たにし市民に信頼され愛される施設として発展して行きたいと思ひます。1ヶ月前より電子カルテが稼動致しました。全職員が一丸となつてその習熟運用に努め、もっと患者サービス、地域医療連携、病診連携の円滑化

に役立てて貰いたいと思ひます。一方検診センターでは4月から始まる特定健診、保健指導にむけ、スタッフの充足を始め準備に万端を期しております。医師会としてましては地域医療の円滑な推進をめざし、救急体制の充実、市民を対象とした健康教室、糖尿病教室等の開催、学校保健、市の保健行政への全面的協力を今後共おし進めて行きたいと思ひます。何卒本年もよろしくお願い致します。

■医事統計総括表

平成19年度（10月～12月）

	10月		11月		12月		
	18年度	19年度	18年度	19年度	18年度	19年度	
外来患者延べ人数 (人)	1,772	1,876	1,844	1,703	1,755	1,614	
1日平均入院患者数 (人)	80.7	94.0	87.5	89.4	88.1	94.1	
科別内訳	循環器	17.9	19.0	13.7	18.9	15.7	24.1
	消化器	20.1	21.3	29.6	19.2	27.9	16.1
	外科	24.5	30.6	24.9	31.7	24.2	29.2
	呼吸器	18.1	23.0	19.3	19.6	20.3	24.7
平均在院日数 (日)	16.7	16.8	17.4	17.1	18.5	18.2	
病床利用率 (%)	73.4	85.5	79.5	81.3	80.0	85.5	
紹介患者数 (人)	297	310	285	260	251	221	
患者紹介率 (%)	75.5	76.2	68.7	78.7	78.5	72.7	
救急車搬入件数 (件)	65	66	61	83	68	74	

4階病棟



4階病棟
看護師長
山田 伊智子

4階病棟は循環器科、呼吸器科の内科病棟で、病床数54床です。病棟の特色は、急性心筋梗塞や心不全、呼吸不全の患者さんが昼夜を問わず、緊急で入院されることです。迅速な処置を必要とするため、看護師は知識と技術を要求されます。また、その反面、慢性的な経過をたどる患者さんも多く身のまわりのケアを行い入院生活が安楽に過ごせるように日々の看護を行っています。

スタッフは看護師24名と看護助手4名、総数28名で美人、個性派、気はやさしくて力持ち揃い！

大変忙しい病棟ですが、メンバーが声を掛け合いチームワークで乗り切っています。また患者様が元気に退院する姿、患者様の笑顔にも励まされているのかも知れません。

欲を言えばスタッフがもう少し多ければより良い看護が提供できるのに：と現スタッフは日々願っております。楽しくやりがいのある病棟です!!看護スタッフ大募集!やる気のある方大歓迎!楽しいナースライフを共に送りませんか!?待ってまーす!!

■ 癒しの空間 ■

絵画展示

12月6日(木)~20日(木)の2週間、梶田重臣様にお借りした絵画を1階ロビーに展示させて頂きました。



電子カルテが稼動しました



院長

中島 仁典

新年明けましておめでとうござ
います。平成17年6月に創刊しま
したこの「ぬくもり」も第11号と
なり、表紙を一新致しました。

さて、当院では昨年の12月1日
から、電子カルテを導入し、同時
に外来の改築も行いました。電子
カルテにつきましては、まだまだ
不慣れな点も多く、皆さんにご迷
惑をおかけしていることと思いま
す。導入につきましては、平成18
年4月から情報システム委員会を
立ち上げ、その後は、各部署の当
院職員が兼任で準備に参加し、さ
らに大勢の職員が自分の時間を
削って協力してくれ、その結果と
して、ようやく昨年12月に本稼動

することができました。言い換え
れば、この院内情報システムは職
員全員の手で完成させたもので
す。今後はこの新しく導入された
電子カルテを十分に活用し、医療
安全・業務の改善に努め、さらに
患者サービスの充実を図り、当院
の基本理念である「救急医療の充
実による地域医療への貢献」と「肌
のぬくもりある医療」の実践に職
員全員が力を合わせて取り組んで
まいります。

至らない点につきましては、直
接職員に、または医療連携室・医
療相談室、ご意見箱を利用して、
どしどしご指摘下さいます様お願
い申し上げます。

電子カルテ導入までの流れ

H18
4月

- 情報システム委員会設置
- 稼動病院見学（機種選定）

H19
6/11

- 体制の決定・承認・スケジュールの決定
- 基本計画書の作成

6/22~

- ワーキンググループ（院内検討メンバー）選出
- オーダリングWG・薬剤WG・看護WG・給食WG・医事会計WG・画像WG等の設置

- 運用手順の検討作成

- サーバールームの設置

8/8
~
10/19

- マスタ登録

8/18
~
9/14

- LAN工事・通信確認



情報システム委員会の様子



操作訓練の様子

主にこんな所が変わりました

⑤予約

次回の診察について、時間単位の予約が出来るようになりました。

④病状説明(病棟)

病棟では無線LANを使った端末を使用することにより、動くことのできない患者様に対してベッドサイドで病状説明を行うことが可能になりました。



③CTやMRIの所見

撮影したCTやMRIの所見をパソコンに打ち込んで報告する形になりました。病変などが写真付の報告書になりました。また、依頼もレポートシステムから閲覧できるようになりましたので、報告作業に専念できる環境となりました。

①受付・会計・薬局

再来の方は受付機を通すことによりスピーディーに受付を済ませることが出来ます。診療情報がコンピュータのネットワークを介して各部門に伝達されるため、薬待ち、会計待ち時間が短縮されます。

②診察

放射線画像や内視鏡画像、検査結果を電子カルテで即時に見ることが出来ます。処置や検査の進行状況をリアルタイムに把握することができるので、安心して医療が受けられます。

12/1

●本稼働実施

11/19

●平行稼働

11/12

●リハーサル(二回目)
模擬患者を設定

11/8

●リハーサル(一回目)
模擬患者を設定

10/10

●テスト登録された
マスタの確認
●操作訓練

操作マニュアル作成
自習操作訓練



受付機



電子カルテ稼働
すっきりした病院の様子



CT読影の様子



自習操作訓練の様子

尿酸代謝(痛風)の検査

「痛風」とは

血液中の尿酸値が高い状態を「高尿酸血症」といいます。尿酸値が高くなると、血液中に溶けきれなくなった尿酸が結晶化して関節などに入り込み、炎症を起こします。これによって引き起こされる激痛を痛風発作と呼びます。

「尿酸」とは

尿酸は、細胞の中にある「プリン体」という物質が体外に排出されるために変化したもので、細胞の燃えカスです。プリン体は食物から取り入れられるだけでなく、体内でも産生され尿酸へと分解されています。尿酸は、通常このように体内で産生される一方で腎臓から尿の中へ排泄されることで、血液中に一定の範囲内で保たれています。

尿酸値が高いといわれた人は、とかく食品のプリン体含有量ばかりを気にしがちですが、食品から直接プリン体を摂らなくても、食事の量が多いと体内で作られるプリン体が多くなり、尿酸が増えます。また、腎臓等からの排泄量が少なくなることでも血液中の尿酸が増えます。

尿酸値が高いと・・・

痛風には至らなくても、血液中の尿酸値が高い状態を放置しておくと、腎機能障害や尿路結石、また動脈硬化を進行させることにより脳梗塞や心筋梗塞などの合併症を引き起こす可能性があります。尿酸値が気になったら、食事等の早めの生活改善が必要です。

検査項目	参考値
尿酸	2.5~6.5mg/dl

宇佐高田医師会病院 臨床検査センター提供

レシピ紹介します



今回のレシピ
今多くある大根を入れた少し変わった餅です。

栄養課 課長代理
管理栄養士
佐藤 昌代

大根もち

材料4人分

大根・・・300g	水・・・70cc
上新粉・・・120g	ぬるま湯・・・150cc
干しえび・・・大さじ5杯	塩・・・小さじ1/2
こしょう・・・少々	ゴマ油・・・少々
練からし・・・適宜	醤油・・・適宜

作り方

- 1、大根はせん切りにして、分量の水を加えて約10分間くらい蒸し煮にして、水気がなくなったら火を止める。冷めてから水気を軽く絞る。
- 2、ボウルに上新粉を入れ、分量のぬるま湯をすこずつ加えながら練り、大根、刻んだ干しえびを入れ塩こしょうを加えて混ぜる。
- 3、皿か容器にラップを敷いて、混ぜ合わせたものを広げて平らにする。蒸し器に入れて中火で約30分

間蒸す。蒸し上がったら冷ます。

- 4、冷めたらラップからはずし適当な大きさに切り、フライパンにゴマ油を敷いて両面に焼き色がつくくらいに焼く。辛子醤油をつけて食べる。

上新粉・・・うるち米(普通の米)を洗って乾燥させ、粉にしたもの。

学会・ポスターセッション発表

11月18日(日)
第25回大分県病院学会(別府市)
「急性期病院における栄養指導後の検査データの推移について」
栄養課/佐藤 昌代

看護研究発表会発表(宇佐市)

12月1日(土)
A病棟における夜間勤務の現状と分析
～タイムテーブル・看護必要度調査を行って～
4階病棟看護師/大川 奈美

大分県臨床検査精度管理報告会(大分市)

12月16日(日)
「HbA1cについて」
検診センター/末延 一義

3階病棟勉強会

10月26日(金) 大研修室にて
「ICLS」
講師:副院長/柏木 孝仁



感染委員会研修会

11月14日(水) 大研修室にて
「消毒剤の適正使用」
講師:健栄製薬/勝川万里先生



院内看護研究発表会

- 11月19日(月) 大研修室にて
- ①外来化学療法患者への関わり
～情報の共有を試みて～
外来看護師/松本 敦子
 - ②A病棟における夜間勤務の現状と分析
～タイムテーブル・看護必要度調査を行って～
4階病棟看護師/土岐絵里菜
 - ③ストーマケア指導の統一への取り組み
～パンフレット作成を通して～
3階病棟看護師/宗 幸宏

情報システム委員会研修会

11月28日(水) 大研修室にて
「電子カルテ導入に伴う情報管理について」
講師:情報システム委員/有野 裕一

第14回宇佐市消防競技大会

11月2日(金) 13:00より宇佐消防署グラウンドにて第14回宇佐市消防競技大会が開催され、本院職員も参加いたしました。
競技結果は左記の通りです。

屋内消火栓女性の部 1号消火栓(団体)

第1位 本田 千賀(3階病棟看護師)

土岐絵里菜(4階病棟看護師)

屋内消火栓男性の部 1号消火栓(団体)

第2位 山本 順次(放射線科 診療放射線技師)

鶴岡 雅彦(医師会事務局 事務員)

吉田 茂樹(医療連携室 社会福祉士)

女性消火器の部(個人)

第3位 大石しずえ(外来看護師)

【感想】

負けず嫌いの2人が、大会に向け、限られた時間の中で機敏な動きができるよう一生懸命練習した結果、優勝することが出来ました。
初優勝を院長をはじめ、他のスタッフに報告することが出来うれしかったです。

土岐絵里菜



外来担当医師一覧表

平成20年1月1日現在

時間帯	科 別	月	火	水	木	金	土
午 前	消 化 器	小野 英樹	中島 仁典	中嶋 宏	中島 仁典	中嶋 宏	中島 仁典
	内 視 鏡	中嶋 宏	中嶋 宏	小野 英樹	小野 英樹	小野 英樹	(再 来)
	循 環 器	金子 匡行	陣林 伯男	金子 匡行	陣林 伯男 ペースメーカー	陣林 伯男	—
	外 科	高松 祐治	柏木 孝仁	西中 秀和 松下章次郎	西中 秀和	柏木 孝仁	—
	呼 吸 器	三重野 斉	—	—	三重野 斉	—	—
午 後	呼 吸 器	—	黒田 芳信	—	—	—	—
	血 液	—	—	—	—	中山 俊之 第2・第4	—

氏 名	専 門 領 域
消化器科 中島 仁典	消化器 肝臓病 内科一般
中嶋 宏	消化器 肝臓病 内科一般
小野 英樹	消化器 肝臓病 内科一般
循環器科 陣林 伯男	循環器科一般
金子 匡行	循環器科一般

氏 名	専 門 領 域
外科 柏木 孝仁	消化器外科 下肢静脈瘤 外科一般
西中 秀和	消化器外科 内視鏡外科 乳腺外科
高松 祐治	消化器外科 外科一般
松下章次郎	消化器外科 外科一般
呼吸器科 三重野 斉	呼吸器科一般

●外来受付時間
午前 8:30~11:00 (午後の特殊外来は、午後3:00まで受付)
予約の患者様が優先になります。ただし、急患はこの限りではありません。
※当病院は、原則として紹介状が必要です。

●診療時間
午前 9:00~12:00
午後 2:00~ 5:00

●休診日
土曜日午後、日曜日、祝祭日、
年末年始 (12/30~1/3)



編集後記

新年明けましておめでとうございます。第11号より、表紙や中身のレイアウトをリニューアルしています。皆様から愛される広報誌になるように、広報委員一同努力して参りますので本年もご愛読のほど宜しくお願い致します。

広報委員

基本理念

地域医療への貢献
「肌のぬくもりある医療」の実践

基本方針

1. 救急医療充実のため、診療連携の強化に努めます。
1. 高度医療の実施、チーム医療の推進に努めます。
1. 患者様の立場にたった医療サービスの提供に努めます。
1. 職員が誇りを持って働ける病院を目指します。

平成19年11月1日より宇佐高田医師会病院は日本がん治療認定医機構より「日本がん治療認定医機構 認定研修施設」に認定されています。

○認定期間
2007年11月1日~
2012年10月31日